

平成28年度 能代市バスケの街づくり市民チャレンジ事業 応募事業一覧

申込者	①個人	②個人	③個人
事業名	Nstyle3x3	シャッターアート	バスケットボールノート
事業内容	3人制バスケットボール3x3(スリーパイスリー)の1Dayイベント。時期は8月を予定し、能代市総合体育館で開催する。参加募集は小学生男女、一般男女。	招待作家を招き、バスケロードである島町、柳町の空き店舗等のシャッターにバスケの絵を描いていただき、バスケの街能代をPRする。	「バスケの街能代」のロゴマークを入れた、部活や試合などの内容を記録するためのノートを製作する。ノートは能代工業高校バスケット部を連想させるデザインやカラーになっている。 平成27年度に市内ミニバスや中高校男女バスケット部にモニタリングを行ったことで、商品(案)は絞られてきている。 今回は、その(案)を基に約1,000冊を作成して子ども達に配布し、また商品化に向けて再度モニタリング等を行う。
無償スタッフ活動時間	102時間	100時間	100時間
補助申込金額	100千円	100千円	100千円
審査会の主な意見、改善の提案等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな要素も加わっていて意欲も感じられるので、ぜひ継続して実施してほしい。</li> <li>・今後は、募集も含めたPR方法等の検討が必要である。また、協賛や後援を募るなど、関係団体や地域との連携を図ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外から作家を呼び込むこと、高校生との連携も取り入れていることは良いと思うので、ぜひ実現してほしい。</li> <li>・ストーリー性に弱さを感じたので、デザインを公募するなどの工夫をして、ぜひ商店街に合った作品にしてほしい。</li> <li>・作業中の安全性や費用などの検討が必要である。また、制作にあたり広告料を募るなどの工夫や努力が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再度モニタリングを行うなど、より多くの関係者を巻き込んで事業を進めていくことにより、商品化の可能性が高まると考えられる。</li> <li>・ぜひ商品化につなげて、地域のPRや経済にも貢献してくれることを期待したい。</li> </ul>

平成28年度 能代市バスケの街づくり市民チャレンジ事業 応募事業一覧

申込者	④NPO法人 ミライ10	⑤NPO法人 ミライ10	⑥個人
事業名	「ウオーク・オブ・フェーム」製作	DOCTOR'S BASKETBALL FESTIVAL at NOSHIRO 2016	Shooters スポーツカフェ
事業内容	今年度中に有名選手、監督のガラスの手型を一つ製作し、能代バスケロードの一部に「バスケの街」の観光資源として配置する。	バスケ好きの医者チームを能代に呼び込み、バスケを楽しんでもらう。	能代市内に臨時のスポーツバーを開設し、アメリカのスポーツバーのようにゲーム観戦と飲食ができる場所を作る。 場内でバスケの試合の映像を複数、大きめのスクリーンで投影し、アメリカ感のあるフードとドリンクを提供する。 期間限定で、空き店舗活用などと合わせて行う。
無償スタッフ活動時間	100時間	100時間	100時間
補助申込金額	100千円	100千円	100千円
審査会の主な意見、改善の提案等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・永続的に補助金に頼るのでなく、賛同者や協力者を募るなどの工夫や努力が必要である。</li> <li>・継続することで事業の成果が現れてくると思うが、製作個数や最終的な展示方法等について、具体的な全体構想の検討も必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的にも面白い取組であり、経済効果につながる部分もあるので、事業の継続、発展を期待したい。</li> <li>・今後、交流人口を増やせる可能性を感じるため、旅行業者や観光協会、商店街等との連携を強化しながら能代のPRにも努めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケファンが集える環境づくりとしては良いと思うので、1日限定ではなくバスケに関連した日を設定して開設するなど、ぜひ常設化への発展を期待したい。</li> <li>・新たな取組として良い事業であると思うが、今後定着していくためには、PR方法やターゲットの設定等の検討が必要である。</li> <li>・予算の積み上げや商店街等との連携について再度検討しながら、継続事業となるように、計画性を持って実施してほしい。</li> </ul>

平成28年度 能代市バスケットの街づくり市民チャレンジ事業 応募事業一覧

申込者	⑦能代バスケットフェスティバル実行委員会	⑧個人
事業名	能代バスケットフェスティバル2016	バスケットボール・メディア・サミット
事業内容	バスケットボールに関わる芸術作品を秋までに公募し、その展示会をメインとした回遊型イベントを能代市内「バスケットロード（仮称）」にて行う。実施時期については、晩秋もしくは初春が適切であると考えている。過去2年間同様、回遊に対するプレゼントも行う。	バスケットボールに関わるマスメディア（雑誌、新聞、テレビ、ラジオ、web媒体など）関係者を集め、日本のバスケットボールの原点と未来を考えるシンポジウムと交流会を「聖地能代」で開催する。基調講演に日本のバスケットボール研究の第一人者である水谷豊先生を迎え、関係団体とのコラボも行っていく。
無償スタッフ活動時間	100時間	100時間
補助申込金額	100千円	100千円
審査会の主な意見、改善の提案等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテンツは確立してきているが、イベント参加者の増加につなげるため、体験、体感できるような新しい要素を取り入れるなどの検討が必要である。</li> <li>・他イベントとのコラボレーションすることは良いと思うので、事業後にしっかりと検証等を行い、今後の継続、拡大につなげてほしい。</li> <li>・協賛や後援を募るなど、商店街等の関係団体との連携、協力を図ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても良い企画だとは思いますが、市民にも関心を持っていただくために、他イベントとの連携や内容に市内見学等を設定するなどの工夫が必要と考える。</li> <li>・実現できれば、バスケットの街能代のPRにかなりの効果が期待できるため、詳細に計画しながら取り組んでほしい。</li> </ul>